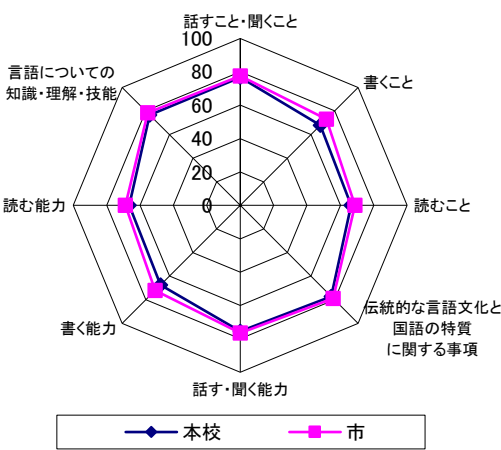


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	76.7	77.6	76.3
	書くこと	68.0	73.0	56.1
	読むこと	66.5	68.8	63.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.2	78.8	71.6
観点別	話す・聞く能力	75.4	76.5	75.4
	書く能力	67.4	72.0	58.1
	読む能力	66.5	68.8	63.9
	言語についての知識・理解・技能	76.7	78.4	70.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

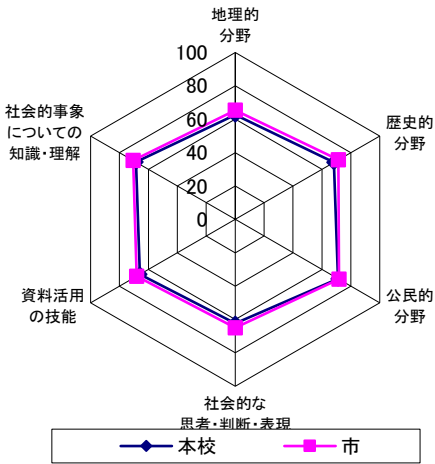
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○聞き手に理解してもらうために話し方を工夫するという問題の正答率は、市の平均を3.3ポイント上回っている。 ●話し手の意見に対して自分の意見を持ち、質問することができるという問題の正答率は、市の平均を4.4ポイント下回っている。	・普段の授業の中で、自分の意見を整理して発言することや、相手が伝えたいことをきちんと理解できるように発言の要旨や要点を理解させる指導をしていく必要がある。また、今後も定期的に聞き取りテストを実施して、話の要点や要旨を的確に把握できるように指導していきたい。
書くこと	●自分の立場を明確に書くことができるという問題の正答率は、市の平均を2.2ポイント下回っている。 ●文章の内容に沿ったまとめを書くことができるという問題の正答率は、市の平均を4.2ポイント下回っている。	・与えられた課題について、どのように自分の考えをまとめて書いていけばよいか等、授業や作文指導の中で継続的に指導していく。また、その際に自分の考えの根拠を明確にし、また自分とは違う立場の意見を踏まえて作文の構成を考えさせたい。そして、様々な表現技法や文章表現力等の基礎的な学力を身に付けさせ、文章読解に対する全体的な理解力を高めていく必要がある。
読むこと	○文章の展開に即して内容をとらえることができるという問題の正答率は、市の平均を0.8ポイント上回っている。 ●文学作品の読み取りに関しての問題の多くの正答率は、市の平均を下回っている。	・説明的文章の内容理解にあたっては、主題と要点を理解し、筆者の考えを読み取ることができるように指導していきたい。また、文学的文章の内容理解については、特に登場人物の心情の読み取りが的確にできるよう指導していきたい。そのためには、多くの文学作品に触れさせ、様々な考え方や捉え方があることに気づかせていきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○小学校で学習した漢字を書くことができるという問題の正答率は、市の平均とほぼ同程度である。	・漢字の読み書きに関しては、定期的な漢字テストの実施等で、基礎的な力の育成を継続して行っていきたい。また、普段の生活においても、漢字を意識的に使うよう指導し、読みと書きのバランスの取れた力を育てていきたい。文法問題に関しては、用言の活用や助動詞の見分け方など難易度が高い問題の理解はもちろんのこと、単語や文節、品詞の区別等基本的な理解も不十分であるので、繰り返し指導していく必要がある。

宇都宮市立陽南中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	62.7	65.4	52.7
	歴史的分野	68.3	71.3	64.1
	公民的分野	71.1	71.8	68.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	62.3	64.9	53.5
	資料活用技能	65.9	68.0	57.3
	社会的事象についての知識・理解	68.6	70.6	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

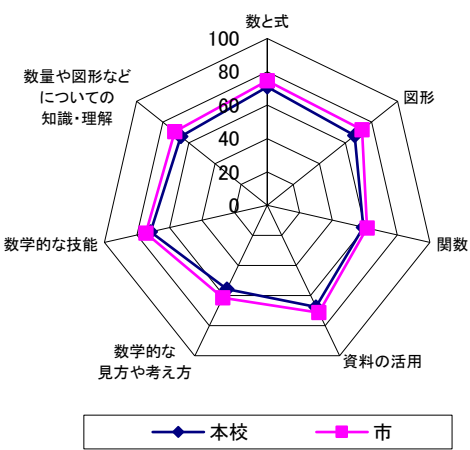
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	○複数の資料を用いて考察するという比較的难度の高い問題については、全国平均を大きく(16ポイント以上)上回っている。 ●アジア州の食文化に関する問題は、全国平均を上回るものの、市平均からはやや下回っている。	・世界の気候と農業の関係、分布図の読み取りについての学習や、緯度と経度についての単元の復習を行っていきたい。
歴史的分野	○歴史においても、複数の資料を用いて考察する問題に強みを発揮し、全国平均を大きく上回っている状況である。 ●近代の日本と世界についての単元は、全国平均を上回るものの、市平均をやや下回っている状況である。特に、倒幕から明治維新のあたりの定着が今ひとつとなっている。	・江戸幕府の末期から明治維新～自由民権運動についての流れを、中心となる人物もおさえながら整理できるよう、確認していきたい。
公民的分野	○憲法改正の手続きについては、宇都宮市の平均を大きく(約15ポイント)上回ったり、法律案の制定についての問題・国会と内閣の関係についても上回ったりするなど、政治分野の学習の定着は概ね良好である。 ●資料を参考にして、自分の言葉で表現するという問題は、全国平均を上回っているが、市平均からはやや下回っている。	・授業において考察する資料課題を提示し、自身の言葉で発表させたり、記述させたりする学習を増やしていく。また、直接請求権のしくみについて、表などを用いて整理して確認していきたい。

宇都宮市立陽南中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	71.0	74.7	72.4
	図形	67.1	72.7	62.3
	関数	59.1	61.3	52.1
	資料の活用	67.5	71.3	55.6
観点別	数学的な見方や考え方	55.6	61.4	45.2
	数学的な技能	71.7	74.6	69.7
	数量や図形などについての知識・理解	66.2	70.8	61.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

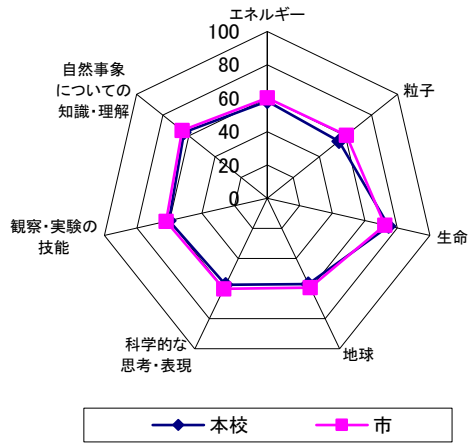
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○解の公式を使って、2次方程式を解くことについて、市の平均を2.4ポイント上回っている。 ●自然数の意味を正しく理解し、自然数を選ぶことについて、市の平均を9ポイント下回っている。	・小学校からの計算につまずきが見られる生徒が多いため、授業開始時の5分間の計算問題を継続して行うとともに、重要な内容に関しては、繰り返し復習し、生徒の理解が深まるような指導をしていく。
図形	●三角形の合同を証明することについて、市の平均を11.3ポイント下回っている。 ●証明に必要な三角形の相似条件を選ぶことについて、市の平均を7.5ポイント下回っている。	・図形に関する基礎知識や定理など、丁寧に復習する。また、問題演習などを通して、生徒に証明に必要な条件などを見つけさせ、文章に記述させるように授業展開を工夫する。
関数	○比例の関係を表す表から、比例の式を表すことについて、市の平均を0.5ポイント上回っている。 ○関数 $y=ax^2$ における y の変域を求めることについて、市の平均を1.0ポイント上回っている。 ● y 座標からグラフ上の点の座標を求めることについて、市の平均を9.9ポイント下回っている。	・グラフから式を求めることにつまずきが見られる生徒が多いので、「式」「表」「グラフ」を関連付けながら、理解を促す指導をしていく。
資料の活用	箱の中から1～20の数字が書かれた玉を1個取り出すときの確率を求めることについて、市の平均とほぼ同じである。 ●平均値についての理解は、市の平均を5.5ポイント下回っている。	・日常生活に関連した問題を取り上げ、生徒の興味や関心を引きつけ、そこから様々な方法で資料の整理を行うことで、生徒の理解が深まるように授業展開を工夫する。また、より多くの問題を取り上げることで、生徒の基礎基本の理解を深める。

宇都宮市立陽南中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	58.2	60.2	57.6
	粒子	54.9	60.6	55.1
	生命	74.7	72.3	63.6
	地球	56.9	59.3	50.4
観点別	科学的な思考・表現	57.5	60.2	57.3
	観察・実験の技能	60.3	62.1	57.5
	自然事象についての知識・理解	63.6	65.2	57.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

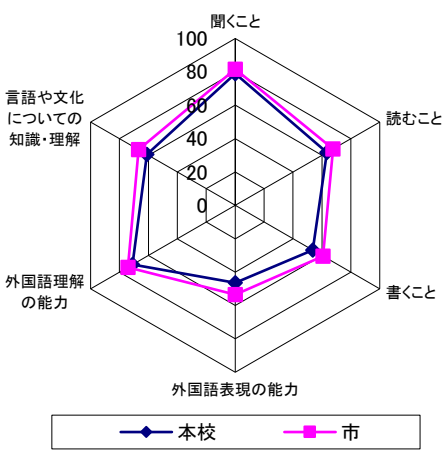
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	○電磁誘導について理解する問題では、全国に比べて16. 9ポイント、市より2. 6ポイント上回っている。 ●水圧と水の深さの関係性を答える問題では、全国に比べて18. 8ポイント、市より1. 1ポイント下回っている。	・水圧と水の深さの関係性については、グループ実験を行い確認しているが、理解の定着につながっていない部分が見られる。事例を示しながら演習を繰り返し、知識を確実に習得させていく必要がある。
粒子	○集気びんの中の酸素と鉄が結びつき、気体の体積が減少したことを指摘する問題では、市より0. 3ポイント上回っている。 ●酸素と二酸化炭素を区別する方法で、誤っているものを指摘する問題では、全国に比べて4. 2ポイント、市より8. 5ポイント下回っている。	・気体の性質についてよく整理し、気体の発生方法などから区別し、正解を見つけ出す能力を伸ばしていく必要がある。
生命	○孫の代に現れる形質の数の比がわかり、それぞれの遺伝子の組み合わせとその数を指摘する問題では、全国に比べて10. 4ポイント、市より10. 1ポイント上回っている。 ●石灰水を白く濁らせるものが二酸化炭素であることを理解する問題では、市より3. 5ポイント下回っている。	・実験や観察の中で得られた結果から、自ら考察したり、グループで話し合ったりするなどの言語活動を通して、思考力の育成に取り組んでいく必要がある。
地球	○示相化石について理解する問題では、全国に比べて22. 6ポイント、市より4. 0ポイント上回っている。 ●飽和水蒸気量と湿度の関係性を答える問題では、全国に比べて7. 8ポイント、市より2. 7ポイント下回っている。	・表から数値を見出し計算する問題に苦手意識があるので、演習を繰り返し、知識を確実に習得させていく必要がある。

宇都宮市立陽南中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	78.9	81.7	75.3
	読むこと	63.4	67.7	62.9
	書くこと	53.7	60.7	52.8
観点別	外国語表現の能力	46.4	53.5	44.8
	外国語理解の能力	71.0	74.2	67.8
	言語や文化についての知識・理解	61.0	66.8	63.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○全ての問題で、おおむね市の正答率から1～4ポイント低いものの、極端に正答率が低い問題が無かった。 ●対話文の応答選択問題においては、比較的正答率が低めであった。特にHow long～？など期間を尋ねる問題が、市に対して5ポイント下回っていた。	・知らない単語や文法表現、発音できない音は聞き取ることが困難であることから、それらを正確に聞き取れるようになるために、より多くの語彙の定着と、発音練習が重要である。
読むこと	○as～asなど比較級の表現として難易度の高い問題は0.5ポイント、対話文の適語補充問題では0.9ポイント、市と比べてそれぞれ正答率がわずかに上回った。 ●It is ～ for … to ～ という表現を読み取る問題で、市と比べて7.9ポイント減と大きく下回った。また、look＋形容詞の含まれる文を読み取る問題では、市と比べて9ポイントと大幅に下回った。	・多数の語が組み合わせられた表現などでは語順に混乱が起きやすいことから、基本文の定着の徹底が肝要である。また、動詞の活用などについても、パターンブラクティスなどで様々な例文に触れる機会を増やすことで定着を狙いたい。
書くこと	○比較的簡単な、文字数の少ない単語はある程度書くことができる。 ●重要な(important)を書かせる問題では、正答率を市と比して10.5ポイントも下げている。また不定詞・現在完了の文を書かせる問題でも6～7ポイント減と大きな差がある。	・文字数の多い単語は覚え間違いが起きやすいため、音節ごとに区切ったり、接頭語・接尾語についても触れたりするなどして理解と定着を図る。 ・英作文については、応用の幅を広げることで力が身に付くと思われるので、基本文の応用反復練習を重ね、様々な文型に慣れさせていくことが大切である。